

Iwami Art Museum

平成21
[2009]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2009 - March 2010

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	12
コレクション展	15
その他の展覧会	24
教育普及活動	25
ボランティア	28
連携事業	29
所蔵作品一覧	30
新収蔵作品一覧	43
所蔵作品貸出実績	44
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	45
収支概要	46
島根県芸術文化センター条例	47
島根県立石見美術館管理規則	52
施設概要	55
運営組織体制	58
利用案内	59

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域にはぐまれてきた文化を大切にしながら、地域とともに新しい芸術文化を育むとともに、その創造をめざします。

活動方針

- 1: 芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2: 芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3: 非日常空間の提供
- 4: 世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1: 幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2: 地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3: 美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4: 美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

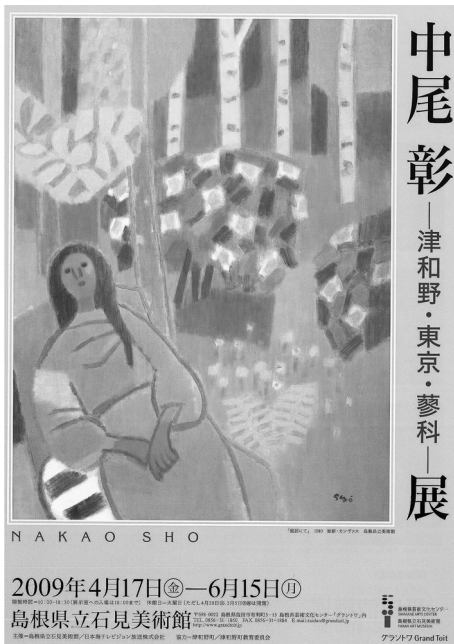
島根県立いわみ芸術劇場

- 1: 芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2: 優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3: 舞台芸術に関する研修機会を提供します。

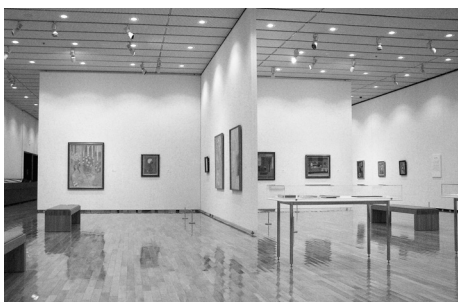
展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	中尾彰展	平成21年 4月17日～6月15日
		黒田清輝展	平成21年 7月18日～8月31日
		千年の祈り 石見の仏像	平成21年 9月18日～11月16日
		疾走する日本車	平成21年12月23日～ 平成22年2月14日
特別展	展示室A	描かれた清流	平成21年 5月13日～7月12日
		出雲藍板締め	平成21年 7月15日～10月12日
	展示室B	年中行事を楽しむ	平成21年 4月25日～6月15日
		金昌烈 水滴	平成21年 7月29日～9月23日
		版画の年賀状	平成21年11月11日～ 平成22年1月11日
コレクション展	展示室A	森村泰昌 美に至る病ー女優になった私	平成21年 10月16日～12月14日
		日本画にみる和の装い	平成21年12月16日～ 平成22年2月14日
		人物の表現	平成22年 2月17日～4月19日
	展示室B	版画の技法	平成21年 3月25日～4月22日
		カワイイ!	平成21年 6月17日～7月27日
		草間彌生	平成21年 9月26日～11月9日
		洋画名品選	平成22年 1月13日～4月25日
	展示室C	モダン×ファッション	平成21年 4月2日～6月14日
		森鷗外、黒田清輝と明治・大正の美術	平成21年 6月17日～9月7日
		ファッションを描く、ファッションを写す	平成21年 9月9日～10月26日
		雲谷等顔とその流派	平成21年 10月28日～11月30日
1960年代の美術とデザイン		平成21年12月2日～ 平成22年2月13日	
ダイアン・アーバスとファッション		平成22年 2月17日～4月19日	
その他の展覧会	展示室D	(財)独立書人団島根県支部 第31回 益田ブロック書展	平成21年 6月25日～6月29日
		2009文化を育むinますだ 第28回益田市美術展	平成21年 11月26日～11月29日
		第41回島根県総合美術展(県展)移動展	平成21年 12月3日～12月6日

企画展 中尾彰 一津和野・東京・蓼科一展



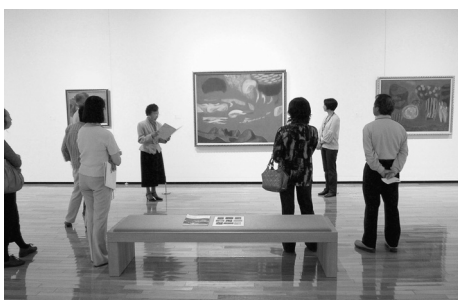
ポスター



会場



会場



ギャラリートーク

中尾彰
一津和野・東京・蓼科一展

NAKAO SHO

2009年4月17日(金)～6月15日(月)

島根県立石見美術館

島根県立石見美術館 〒692-8002 島根県石見郡松江市大森町1-10 島根県立石見美術館文化センター1階（サンシティ内）
TEL:0852-321-1111 FAX:0852-321-1188 E-Mail:info@shimane-art-museum.jp
主催：島根県立石見美術館、日本海テレビジョン放送株式会社 協賛：津和野町、津和野町教育委員会

アートフ Grand Tait

展覧会名：中尾彰一津和野・東京・蓼科一展

会期：平成21年4月17日(金)～6月15日(月)

休館日：火曜日(ただし4月28日、5月8日は開館)

観覧料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金。

*小中高生の学校利用は無料。

*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主催：島根県立石見美術館、日本海テレビジョン放送株式会社

協力：津和野町、津和野町教育委員会

内容

津和野出身の画家中尾彰の本格的回顧展。中尾彰にゆかりの深い、練馬区立美術館、茅野市美術館及び当館の共同企画。初期から晩年までの油彩画63点を中心に、絵本原画などでその画業を振り返る。

新聞、雑誌掲載

中国新聞4月17日 内覧会紹介記事

山陰中央新報4月22日 展覧会開幕記事

読売新聞社4月23日 展覧会開幕記事

山陰中央新報4月24日 真住 貴子 中尾彰展によせて

朝日新聞4月24日 展覧会開幕記事

毎日新聞4月30日 展覧会開幕記事

中国新聞5月11日 真住 貴子 アートの杜

新美術新聞6月1日 展覧会紹介記事

山陰中央新報6月3日 展覧会・及びイベント紹介

印刷物

展覧会図録

図版：74点

横山勝彦「中尾彰ー若き日の回想ー『老年歌・望郷歌』より」

真住貴子「中尾彰 島根とのかかわりを中心に」

前田忠史「中尾彰の愛した蓼科」

判型：A4変形 88ページ

編集：練馬区立美術館 横山勝彦

島根県立石見美術館 真住貴子

茅野市美術館 前田忠史・九富美香

デザイン・制作：印象社

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4変形

(デザイン：すべて印象社)

関連事業

講演会：「戦前・戦後の絵本事情」

日時：4月26日(日)14:00～15:30

講師：松本 猛 (安曇野ちひろ美術館館長、長野県信濃美術館・東山魁夷館館長)

会場：美術館講義室

聴講者：52名



講演会：「戦前・戦後の絵本事情」



ワークショップ・絵本ライブ

ワークショップ・絵本ライブ

よしと&ひうた with チルドレン ライブ・ペーパー・ストーリー at グラントワ!

講師：よしと&ひうた(絵本アーティスト・ミュージシャン)
 日時：ワークショップ 5月23日(土)10:00~15:00
 発表会 5月24日(日)14:00~15:00
 会場：美術館講義室及び美術館ロビー
 参加者：合計94名

ギャラリートーク(朗読つき)

日時：4月18日(土)、5月26日(土)、31日(日)、6月7日(日)、14日(日)
 朗読：朗読の会「風」
 会場：展示室D
 参加者：合計96名

こどもWEEK

期間：4月29日(水・祝)~5月11日(月)
 内容：県の児童福祉週間とあわせて中学生以下を無料とした
 利用者：33名



ポスター



会場



会場



ギャラリートーク

展覧会名：近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展

会 期：平成21年7月18日(土)～8月31日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金。

* 小中高生の学校利用は無料。

* 障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：鳥根県立石見美術館、東京国立博物館、東京文化財研究所、中国新聞社

内 容

明治・大正時代の日本の洋画壇をリードした黒田清輝の、初期から晩年に至る作品を紹介する展覧会。代表作で重要文化財の《湖畔》、《智・感・情》を含む、東京国立博物館・東京文化財研究所所蔵の約150点を一堂に展示した。毎年国の事業として開催されている展覧会であるが、当館では黒田が石見出身の森鷗外と親交があったことを紹介する、独自の視点を盛り込んだものとした。

教育普及プログラムのほか、《湖畔》に描かれている団扇と同じデザインの団扇を制作し、毎日先着30名と、特別バージョンのチラシを持って来館された方にプレゼントするなど、広報展開でも話題となった。

新聞、雑誌掲載

読売新聞7月4日 展覧会告知記事

中国新聞7月13日 澄川館長インタビュー「会いたい話したい・清輝さんの精神感じて」

中国新聞7月17日 展示作業取材

中国新聞7月18日 展覧会開幕記事

中国新聞7月19日 展覧会紹介記事 先着で特製うちわ

山陰中央新報7月18日 展覧会開幕記事

新美術新聞7月21日 展覧会紹介記事

毎日新聞7月24日 展覧会紹介記事

中国新聞7月25日 川西由里 「黒田清輝展」によせて

中国新聞8月9日 展覧会紹介記事 バスで行く名画の世界

中国新聞8月21日 ワークショップ取材記事

朝日新聞8月21日 展覧会紹介記事

中国新聞8月22日 1万人達成記事

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4変形

子供のための鑑賞ガイド(シール付き)

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

関連事業

講演会「日本絵画の近代化と黒田清輝」

講 師：山梨絵美子(東京文化財研究所 近・現代視覚芸術研究室長)

日 時：8月1日(土) 14:00～15:00

会 場：講義室

聴 講 者：45名

ワークショップ「夏休みお絵かき塾 《湖畔》に挑戦!

浴衣を着た人物モデルを、鉛筆や水彩で写生した。

講 師：真住貴子(当館学芸グループ課長)

日 時：8月8日(土)

会 場：講義室

参 加 者：28名



来場1万人達成



ワークショップ

美術講座「黒田清輝と森鷗外」

講 師：川西由里(当館主任学芸員)
 日 時：8月29日(土)14:00～15:00
 会 場：講義室
 聴 講 者：44名

ギャラリートーク

講 師：当館学芸員
 日 時：7月19日(日)、8月9日(日)、8月15日(土)いずれも14:00～
 会 場：展示室D
 参 加 者：合計120名

ギャラリートーク「夏休み宿題お助けクイズラリー」

ワークシートを用い、クイズに挑戦しながら黒田清輝の作品を鑑賞した。

講 師：当館学芸員
 日 時：8月16日(日)、8月30日(日)いずれも14:00～
 会 場：展示室D
 参 加 者：合計18名

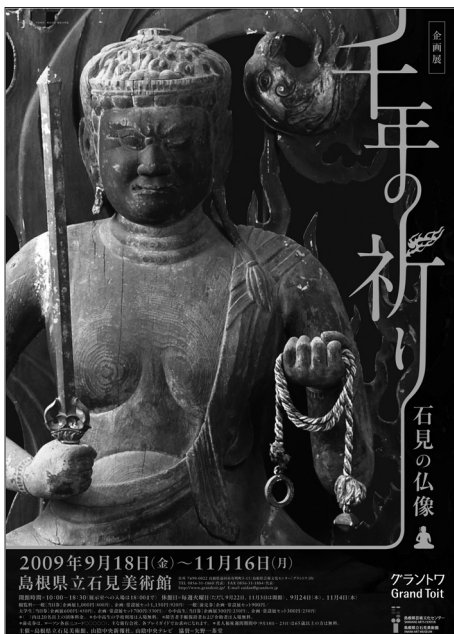
グラントワ tea ガーデン「粧茶(よそおいちゃ)」

日 時：8月15日(土)11:00～
 会 場：美術館ロビー
 参 加 者：100人

オリジナルうちわプレゼント

会期中毎日先着30名、特別バージョン(「当たり」つき)チラシを持って来館された方に《湖畔》に描かれたうちわと同じ柄の「オリジナルうちわ」をプレゼントした。

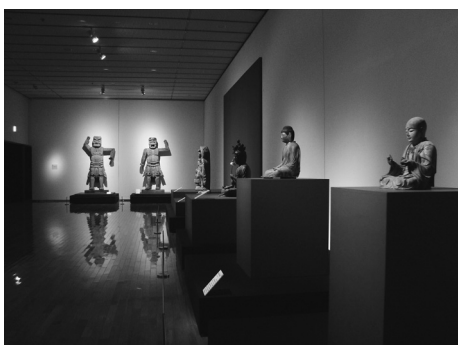
企画展 千年の祈り 石見の仏像



ポスター



会場



会場



ギャラリートーク

展覧会名: 千年の祈り 石見の仏像
会 期: 平成21年9月18日(金)～11月16日(月)
休 館 日: 毎週火曜日(ただし9月22日、11月3日は開館)、9月24日(木)、11月4日(水)
観 覧 料: 当日券 一般/1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生/600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生/300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円
 前売券[企画・コレクション展セット]一般/900円、大学生/500円、小中高生/200円
 *()内は20名以上の団体料金。 *小中高生の学校利用は無料。
 *障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。
主 催: 島根県立石見美術館、山陰中央新報社、山陰中央テレビ
協 賛: 矢野一茶堂

内 容
 従来、あまり多くを知られていなかった石見地方伝来の仏像にスポットをあて、近年進展した調査研究の成果をもとに、石見地方全域の20を越える寺院・所蔵者から貴重な仏像34体を集めて一堂に展示・紹介する初めての試み。白鳳時代から江戸時代まで、およそ千年にわたる石見の仏像が展示された。

- 新聞、雑誌掲載**
- 中国新聞9月8日 石見国分寺仏頭関連記事 全国初 国分寺本尊か
 - 山陰中央新報9月8日 石見国分寺仏頭関連記事 最古の国分寺本尊か
 - 毎日新聞9月8日 石見国分寺仏頭関連記事 石見国分寺8世紀の仏像頭部か
 - 読売新聞9月8日 石見国分寺仏頭関連記事 8世紀石見国分寺の本尊?
 - 朝日新聞9月8日 石見国分寺仏頭関連記事 国をまわる「ご本尊」?
 - 山陰中央新報9月15日 長谷洋一「千年の祈り 石見の仏像展」
 - 山陰中央新報9月18日 展覧会紹介記事 石見の仏像一堂に
 - 山陰中央新報9月19日 展覧会紹介・記念講演会記事 石見の貴重な仏像34体
 - 朝日新聞9月22日 展覧会紹介記事 100年ぶり不動明王座像も
 - 山陰中央新報9月23日 椋木賢治「仏像と向き合う」
 - 山陰中央新報9月29日 的野克之「石見の仏像」
 - 山陰中央新報9月12日 作品紹介 長谷洋一「観音菩薩立像(定徳寺)」
 - 山陰中央新報9月13日 作品紹介 長谷洋一「仏頭(浜田市教育委員会)」
 - 山陰中央新報9月15日 作品紹介 長谷洋一「天部立像(萬福寺)」
 - 山陰中央新報9月16日 作品紹介 長谷洋一「不動明王座像(極楽寺)」
 - 山陰中央新報9月17日 作品紹介 長谷洋一「阿弥陀如来立像(暁音寺)」
 - 山陰中央新報9月18日 作品紹介 長谷洋一「釈迦如来坐像(龍澤寺)」
 - 山陰中央新報9月24日 作品紹介 長谷洋一「千手観音菩薩立像(安立寺)」
 - 読売新聞9月26日 展覧会紹介記事 お不動さん里帰り
 - 山陰中央新報9月28日 作品紹介 長谷洋一「十一面観音菩薩立像(妙義寺)」
 - 山陰中央新報10月1日 作品紹介 長谷洋一「観音菩薩立像(大喜庵)」
 - 山陰中央新報10月5日 作品紹介 長谷洋一「大日如来坐像(西隆寺)」
 - 山陰中央新報10月8日 作品紹介 長谷洋一「阿弥陀如来立像(清泰寺)」
 - 山陰中央新報10月12日 作品紹介 長谷洋一「阿弥陀如来立像(心覚院)」
 - 山陰中央新報10月15日 作品紹介 長谷洋一「釈迦如来立像(天蔵寺)」
 - 山陰中央新報10月19日 作品紹介 長谷洋一「薬師如来坐像(東陽庵)」
 - 山陰中央新報10月22日 作品紹介 長谷洋一「地藏菩薩坐像(西蓮寺)」
 - 山陰中央新報10月26日 作品紹介 長谷洋一「阿弥陀如来坐像(勝源寺)」
 - 山陰中央新報10月26日 イベント紹介記事 仏像コスプレ来場者楽しむ
 - 山陰中央新報10月29日 作品紹介 長谷洋一「女神立像(正法寺)」
 - 山陰中央新報10月31日 展覧会紹介記事 「千年の祈り」1万人超
 - 山陰中央新報11月2日 作品紹介 長谷洋一「金剛力士立像(正法寺)」
 - 中国新聞夕刊11月2日 椋木賢治「仏教黎明期の貴重な遺品」

印刷物
展覧会図録『千年の祈り 石見の仏像』
内 容: 図版 83点 長谷洋一「石見の仏像」
判 型: A4変形 126ページ
編 集: 椋木賢治
デザイン・制作: 美術出版社
発 行: 島根県立石見美術館
展覧会ポスター: B2 展覧会チラシ: A4
クイズノート ポスター(割引券) (デザイン: すべて美術出版社)



体験イベント
「みんなで大仏パズルをつくろう!」



実演講座
「仏像を彫る!」



体験イベント
「仏像コスチュームに挑戦!」

関連事業

記念講演会「石見の仏像 千年の歴史」

講師：長谷洋一(関西大学教授)
日時：9月18日(金)14:00～15:30
会場：講義室
聴講者：60名

入門講座「仏像に親しむ」

講師：椋木賢治(当館主任学芸員)
日時：9月26日(土)14:00～15:30
会場：講義室
聴講者：48名

特別講演会「仏像対決!石見VS出雲」

講師：的野克之(島根県立古代出雲歴史博物館学芸グループ課長)
日時：10月3日(土)14:00～15:30
会場：講義室
聴講者：35名

トークショー「仏像にもっと近づこう!」

講師：仏像ガール(仏像ナビゲーター)
日時：10月10日(土)14:00～15:30
会場：大ホールホワイエ
聴講者：120名

体験イベント「みんなで大仏パズルをつくろう!」

日時：10月11日(日)11:00～12:30
会場：中庭広場
参加者：30名

実演講座「仏像を彫る!」

講師：川島康史(木彫家)
日時：10月24日(土)14:00～15:30
会場：講義室
参加者：30名

体験イベント「仏像コスチュームに挑戦!」

着付指導：岩井共二(山口県立美術館主任学芸員)
岡宏三(島根県古代文化センター専門学芸員)
日時：10月25日(日)14:00～、16:00～
会場：美術館ロビー
参加者：20名

特別講演会「日本人と木の文化」

講師：澄川喜一(当館館長)
日時：10月31日(土)14:00～15:30
会場：美術館ロビー
聴講者：36名

ギャラリートーク

講師：当館学芸員
日時：9月20日(日)、23日(水・祝)、10月11日(日)、11月1日(日)、8日(日)
いずれも14:00～
会場：展示室D
参加者：合計170名

グラントワ tea ガーデン「蓮月茶(れんげつちゃ)」

日時：11月1日(日)、11月8日(日)11:00～
会場：美術館ロビー
参加者：合計80名

オリジナル「エコバッグ」プレゼント

会期中毎日先着15名に、オリジナル「エコバッグ」をプレゼントした。

企画展 疾走する日本車 —1960年代を主軸とする国産車の軌跡—



ポスター



ポスター



会場

展覧会名：疾走する日本車—1960年代を主軸とする国産車の軌跡—

会 期：平成21年12月23日(水・祝)～平成22年2月14日(日)

休 館 日：毎週火曜日、年末年始12月26日(土)～1月1日(金・祝)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金。

* 小中高生の学校利用は無料。

* 障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、読売新聞大阪本社、美術館連絡協議会、日本海テレビジョン放送株式会社、山口朝日放送株式会社

協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷

協 力：いすゞ自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、日野自動車株式会社、本田技研工業株式会社、マツダ株式会社、三菱自動車工業株式会社、社団法人島根県自動車整備振興会、社団法人日本自動車販売協会連合会島根県支部、社団法人全国軽自動車協会連合会島根県事務取扱所

企 画：福井県立美術館

内 容

日本車の黄金期である1960年代の乗用車を中心に14台の実車を展示した。同時にそれらを生み出す過程のデザイン画、試作モデル、宣伝広告等を展示し、当時の日本の自動車文化を検証した。都道府県立の美術館として初の大規模な日本車の展覧会。

新聞、雑誌掲載

日刊自動車新聞12月8日 展覧会紹介記事 60年代の名車展示

読売新聞12月16日 開催告知記事

読売新聞12月20日 展覧会紹介記事 「昭和の名車」搬入

中国新聞12月20日 展覧会紹介記事 日本車の黄金期14台集結

読売新聞12月24日 展覧会紹介記事 名車の魅力 子に力説

中国新聞12月24日 展覧会紹介記事 個性放つ60年代日本車

山陰中央新報12月25日 展覧会紹介記事 “幻の名車”ずらり

雑誌「Mobi21 2010年1月号」12月25日 展覧会紹介記事 トピックス

毎日新聞1月5日 展覧会紹介記事 60年代名車ズラリ

朝日新聞1月8日 展覧会紹介記事 往年の国産名車勢ぞろい

読売新聞1月13日 作品紹介 河野克彦 ライバル「疾走する日本車」展から1

「高根の花 庶民の憧れ」

読売新聞1月14日 作品紹介 河野克彦 ライバル「疾走する日本車」展から2

「市民に手届く時代へ」

読売新聞1月16日 作品紹介 河野克彦 ライバル「疾走する日本車」展から3

「軽、小型開発にしのぎ」

読売新聞1月17日 作品紹介 河野克彦 ライバル「疾走する日本車」展から4

「個性競い合う」

読売新聞1月19日 作品紹介 河野克彦 ライバル「疾走する日本車」展から5

「団塊世代が支持」

読売新聞1月20日 作品紹介 河野克彦 ライバル「疾走する日本車」展から6

「美しさ追い求める」

読売新聞1月21日 作品紹介 河野克彦 ライバル「疾走する日本車」展から7

「息長く今も愛され」

読売新聞1月21日 関連事業紹介記事 交通安全・防犯教室 児童、白バイ試乗も

中国新聞1月22日 関連事業紹介記事 バトカーで学ぶ交通安全

中国新聞1月25日 関連事業紹介記事 自作の衣装 小中学生披露

毎日新聞1月25日 関連事業紹介記事 見てこのファッション

山陰中央新報1月26日 関連事業紹介記事 決めたポーズに拍手 子どもファッションショー

中国新聞1月30日 展覧会紹介記事 日本車展1万人突破

山陰中央新報1月30日 展覧会紹介記事 入場者1万人突破

読売新聞2月2日 展覧会紹介記事 日本車展1万人突破

中国新聞2月10日 展覧会紹介記事 晴耕雨読 名車おじさんを魅了



会場



特別ギャラリートーク



イベント
「ラジコン大会 グラントワカップ09 4時間耐久レース」



エコカー展示会

印刷物

展覧会図録『疾走する日本車 -1960年代を主軸とする国産車の軌跡-』

内 容：図版 カラー193点

判 型：A4変形版(297×214mm) 128ページ

編 集：西村直樹(福井県立美術館)、河野克彦(島根県立石見美術館)、日刊自動車新聞社

編集協力：株式会社カースタイリング出版、株式会社芸文社、株式会社三栄書房、株式会社二玄社、株式会社モーターマガジン社、株式会社八重洲出版(50音順) 伊東和彦、大内明彦、田中克明、千葉匠、当摩節夫、堀暢宏(50音順)

デザイン監修：戸田正寿

写真撮影：谷井功

印 刷：凸版印刷株式会社

発 行：読売新聞東京本社、美術館連絡協議会

展覧会ポスター：B2二種類

展覧会チラシ：A4二種類

(デザイン：すべて戸田正寿)

関連事業

イベント「ラジコン大会 グラントワカップ09 4時間耐久レース」

日 時：11月22日(日)11:00～15:00

会 場：中庭広場特設コース

協 力：益田ラジコン友の会、浜田アースRCC

参 加 者：50名

座談会「1960年代日本車のデザイン」

日 時：1月16日(土)14:00～15:30

講 師：千葉匠(カーデザイン評論家)、伊東和彦(株式会社二玄社別冊単行本編集室)

司 会：西村直樹(福井県立美術館)

会 場：大ホールホワイエ

聴 講 者：45名

特別ギャラリートーク

日 時：1月10日(日)11:00～12:00、14:00～15:00

講 師：山田耕二(トヨタ博物館学芸員)

会 場：展示室D

参 加 者：350名

工作教室「木のクルマを作ろう」

日 時：1月9日(土)、2月6日(土) 各日13:00～16:00

会 場：講義室

参 加 者：47名

特別展示「エコカー展示会」

日 時：A日程1月23日(土)、24日(日) 10:00～17:00 展示車両8台

B日程1月30日(土)、31日(日) 10:00～17:00 展示車両7台

会 場：中庭広場

協 力：社団法人日本自動車販売協会連合会島根県支部、社団法人全国軽自動車協会連合会島根県事務取扱所

参 加 者：2,160名

お茶のおもてなし グラントワteaガーデン

「舞福茶」

日 時：1月3日(日) 11:00～

会 場：美術館ロビー

参 加 者：100名

「暖茶」

日 時：1月30日(土) 11:00～

会 場：美術館ロビー

参 加 者：100名



ぬりえコーナー

グラントワシアター「ヘアピンサーカス」

日 時：1月11日(月)14:00～、18:30～
 会 場：小ホール
 入 場 者：67名

キッズファッションワークショップ&ショー 「ジャパニーズポップファッションを創ろう」

講 師：水谷由美子(山口県立大学教授)
 堀内充(バレエダンサー)
 若佐久美子(バレエダンサー)

①ワークショップ

日 時：12月19日(土)、12月20日(日)、12月23日(水)、1月9日(土)、1月10日(日)
 各日10:30～16:00
 場 所：講義室、多目的ギャラリー、スタジオ1
 参 加 者：22名

②ファッションショー

日 時：1月11日(月)10:30～16:00
 場 所：大ホール
 入 場 者：50名

ギャラリートーク(作品解説)

講 師：河野克彦(当館主任学芸員)
 日 時：1月17日(日)、1月31日(日)、2月11日(木・祝)、2月14日(日)
 各日14:00～
 会 場：展示室D
 参 加 者：計100名

オリジナルグッズ・プレゼント

会期中土・日・祝日先着50名にオリジナル車用芳香剤をプレゼントした。

特別展

展示室A 描かれた清流 — 高津川水質日本一記念 —

会 期：平成21年5月13日(水)～7月12日(日)

内 容：平成20年、高津川が2年連続で水質日本一と認められた。これを記念し、清流が描かれた絵画作品を集めて紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		遊女柳橋扇面流図	江戸時代 17世紀	紙本著色	島根県立石見美術館
2	岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	江戸時代 1848年	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
3	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代 18世紀	紙本墨画	島根県立石見美術館
4	谷 文晁	滝図	江戸時代 1828年	絹本著色	島根県立石見美術館
5	多胡 逸斎	青緑山水図	江戸時代 19世紀	絹本着色	島根県立美術館
6	山本 琴谷	瀧見観音図	江戸時代 19世紀	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
7	山本 琴谷	張翰適意図	江戸時代 1868年	絹本着色	島根県立美術館
8	富岡 鉄斎	江山招隠図	近代 1907年	絹本着色	島根県立石見美術館
9	田中 頼璋	初夏山水図	近代 1917年	紙本着色	島根県立美術館
10	大下 藤次郎	風景	近代 1904年	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	溪流	近代	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	多摩川上流	近代 1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	せせらぎ	近代 1903～1911年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	多摩川	近代 1906年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	川	近代	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
16	吉田 博	風景	近代 1911～1920年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
17	吉田 博	黒部川の吊橋	近代 1918年	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
18	川村 清雄	緑蔭牧牛図	近代 大正～昭和初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
19	長原 孝太郎	風景	近代 1921年	油彩、板	島根県立石見美術館
20	横山 大観	水温む	現代 1954年	紙本墨画	島根県立石見美術館
21	田中 頼璋	白雲紅樹	近代 1934年	絹本着色	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 5月20日 展覧会紹介記事

展示室A 出雲藍板締めの世界

会 期：平成21年7月15日(水)～10月12日(日)

内 容：島根県立古代出雲歴史博物館の協力を得て、幻の染色技法「板締め染め」を石見で初めて紹介。

出品リスト

No.	作品名	点数	制作年代	所蔵
1	出雲藍板締め版木	47枚	江戸時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
2	藍板締め竹に虎文様木綿布	2枚	江戸時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
3	藍板締め扇に桜・鳥に霞文様木綿布	2枚	江戸時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
4	藍板締め角通し文様腹当	1枚	近代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
5	藍板締め角通し文様細帯	2本	近代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
6	藍板締め角通し文様巾着	1具	近代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
7	藍板締め井桁に蝙蝠文様巾着	1具	近代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
8	藍板締め井桁崩文様野良着	1領	近代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
9	藍板締め絞り縞文様半被	1領	明治時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
10	京紅板締め版木	36枚	明治時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
11	紅板締め 内着	1領	明治時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
12	紅板締め 内着	1領	明治時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
13	紅板締め 内着	1領	明治時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
14	鼠小紋東君新形	3枚組	江戸時代 1856年	島根県立古代出雲歴史博物館
15	おまつり佐七	3枚組	江戸時代 1857年	島根県立古代出雲歴史博物館
16	豊饒御蔭参之図	3枚組	江戸時代 1867年	島根県立古代出雲歴史博物館
17	染色時同様に積み上げられた出雲板締め版木(地白)	37枚	江戸時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
18	染色時同様に積み上げられた出雲板締め版木(地染まり)	18枚	江戸時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
19	締め具	4点	江戸時代 19世紀	島根県立古代出雲歴史博物館

No.	作品名	点数	制作年代	所蔵
20	藍板締め竹に虎文様木綿布裂(復元品)	1枚	現代 21世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
21	織り上げた復元木綿布	2反	現代 21世紀	島根県立古代出雲歴史博物館
22	藍板締め波兔文様木綿布(復元品)	2反	現代 21世紀	島根県立古代出雲歴史博物館

新聞掲載

山陰中央新報 9月3日 展覧会紹介記事

展示室B 年中行事をたのしむ

会 期：平成21年4月25日(土)～6月15日(月)

内 容：端午の節句を中心に、人日、上巳、七夕、重陽の五節句にちなんだ美術作品を展示した。室町文化フェスティバル協賛。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色	島根県立石見美術館
2	田中 抱二	有職雑絵	江戸時代末～明治時代	絹本着色	株式会社 虎屋
3	酒井 抱一	柏餅図	江戸時代後期	絹本着色	株式会社 虎屋
4		大津絵 鍾馗	不詳	紙本着色	島根県立美術館
5		紫地薬玉模様振袖	大正時代前期	絹、刺繍	共立女子大学
6		紺縹子地薬玉模様打掛	明治時代	絹、染	共立女子大学
7	歌川 広重	花菖蒲に燕	江戸時代	木版、紙	島根県立美術館
8	歌川 広重	名所江戸百景 水道橋駿河台	安政3年(1856)	木版、紙	島根県立美術館
9		立板古・雛段組立の図	明治17年(1884)	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
10		立板古・新版具足組上	明治22年(1889)	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
11	落合 芳幾	立板古・武者幟	江戸時代末～明治時代	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
12	歌川 広重	名所江戸百景 市中繁栄七夕祭	安政3年(1856)	木版、紙	島根県立美術館
13	内藤 伸	重陽菊酒	昭和5年(1930)	木、彩色	島根県立石見美術館
14	吉田 元陳	亥猪之日図	安永9年(1780)	絹本着色	株式会社 虎屋
15	富岡 鉄斎	嘉祥菓子図	明治～大正時代	紙本着色	株式会社 虎屋
16	山本 琴谷	年中行事図屏風	江戸時代末期	紙本着色	島根県立石見美術館
17	川又 常行	年中行事絵巻	江戸時代中期	紙本着色	株式会社 虎屋

印刷物

展覧会チラシ：A4二つ折り(デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

足湯でまったりー菖蒲湯をたのしもう!

日 時：5月5日

会 場：グラントワ中庭広場

室町文化フェスティバルの一環として美都温泉の協力を得て、菖蒲の葉からつくる「菖蒲湯」の足湯を設置し、来場者に体験してもらった。

トークショー「伝統文化の薫るくらし」

日 時：5月9日(土) 14:00～15:30

会 場：スタジオ1

出 演：黒川光博(虎屋十七代当主)、内藤廣(建築家・グラントワ設計者)

聴 講 者：60名



展覧会チラシ

新聞掲載

山陰中央新報 5月15日 展覧会紹介記事

展示室B 金昌烈 水滴

会 期：平成21年7月29日(水)～9月23日(水)

内 容：韓国を代表するアーティスト金昌烈。金が1970年代からテーマにした水滴の作品を中心に油彩5点、版画3点で展覧する。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	金昌烈	水滴	昭和56年(1981)	油彩、麻布	島根県立美術館
2	金昌烈	水滴	平成9年(1997)	油彩、麻布	江津市水ふれあい公園水の国
3	金昌烈	水滴	平成9年(1997)	油彩、麻布	江津市水ふれあい公園水の国
4	金昌烈	回歸JTT 98001-A	平成10年(1998)	アクリル、油彩、カンヴァス	個人蔵
5	金昌烈	回歸JTT 98001-B	平成10年(1998)	アクリル、油彩、カンヴァス	個人蔵
6	金昌烈	回歸'93	平成5年(1993)	リトグラフ、紙	個人蔵
7	金昌烈	回歸'93	平成5年(1993)	リトグラフ、紙	個人蔵
8	金昌烈	回歸'93	平成5年(1993)	リトグラフ、紙	個人蔵

展示室B 版画の年賀状

会 期：平成21年11月11日(水)～1月11日(月・祝)

内 容：年賀状の発売日にあわせ、島根県立美術館及び鳥取県南部町にある祐生出会の館が所蔵する版画交換会「榛の会」で交わされた版画の年賀状の中から、来年の干支である、昭和13年と25年の寅年の年賀状約170点を展示した。主な作家に畦地梅太郎、前川千帆、恩地孝四郎、平塚運一、板祐生、木村義男、武井武雄など。

〈榛の会〉童画家、武井武雄の主催で行なわれた年賀状交換会。参加者はプロの画家や版画家の他に、絵心のあるコレクターなども入っている。毎年参加者から厳選された50人が選ばれ、オリジナル制作されたアルバムに収められた。「榛の会」は昭和10年から29年の20年間に渡って、戦中もとぎれることなく行われ、交わされた年賀状は、折々の時世を反映している。

〈祐生出会の館〉鳥取県出身の孔版画家・板祐生(いたゆうせい1889～1956年)の作品と、彼の郷土玩具等のコレクションが一堂に会した記念館。板祐生は「榛の会」のメンバーの一人でもあった。

出 品：年賀状約170点

新聞掲載

朝日新聞 12月3日 展覧会紹介記事

読売新聞 12月18日 展覧会紹介記事

雑誌掲載

サライ 2010年1月号 展覧会紹介

コレクション展

展示室A 森村泰昌 美に至る病 女優になった私

会 期：平成21年10月16日(金)～12月14日(月)

内 容：森村泰昌は古今東西の名画や歴史上の人物に扮したポートレートで注目を集める作家。今回は森村泰昌がさまざまな有名映画女優に扮する一連の写真作品、通称「女優」シリーズを一堂に展示した。本シリーズはファッションを収集方針の一つに掲げる当館コレクションの目玉の一つでもある。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	森村 泰昌	光るセルフポートレート(女優)/赤いマリリン	1996	エクタ・カラー・ウルトラII / アクリル加工	個人
2		光るセルフポートレート(女優)/白いマリリン	1996	エクタ・カラー・ウルトラII / アクリル加工	個人
3		セルフポートレート(女優)/デートリッヒとしての私・2	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
4		セルフポートレート(女優)/デートリッヒとしての私・3	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
5		セルフポートレート(女優)/ジェーン・フォンダとしての私・3	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
6		セルフポートレート(女優)/バルドーとしての私・1	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
7		セルフポートレート(女優)/バルドーとしての私・2	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
8		セルフポートレート(女優)/ボンド・ガールとしての私・1	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
9		セルフポートレート(女優)/フェイス・ダナウェイとしての私・2	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
10		セルフポートレート(女優)/シルビア・クリステルとしての私・2	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
11		セルフポートレート(女優)/シルビア・クリステルとしての私・3	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
12		セルフポートレート(女優)/ライザ・ミネリとしての私・1	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
13		セルフポートレート(モノクロ)/バグマンとしての私	1996	ゼラチン・シルヴァー・プリント / 額装	個人
14		セルフポートレート(モノクロ)/シルビア・クリステルとしての私	1996	ゼラチン・シルヴァー・プリント / 額装	個人
15		セルフポートレート(モノクロ)/マリリン・モンローとしての私	1996	ゼラチン・シルヴァー・プリント / 額装	個人
16		セルフポートレート(モノクロ)/バルドーとしての私	1996	ゼラチン・シルヴァー・プリント / 額装	個人
17		セルフポートレート(モノクロ)/ヘップバーンとしての私	1996	ゼラチン・シルヴァー・プリント / 額装	個人
18		セルフポートレート(モノクロ)/ライザ・ミネリとしての私	1996	ゼラチン・シルヴァー・プリント / 額装	個人
19		セルフポートレート(モノクロ)/ガルボとしての私・1	1996	ゼラチン・シルヴァー・プリント / 額装	個人
20		セルフポートレート(モノクロ)/ガルボとしての私・2	1996	ゼラチン・シルヴァー・プリント / 額装	個人
21		セルフポートレート(女優)/ヘップバーンとしての私・2	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
22		セルフポートレート(女優)/ガルボとしての私・1	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
23		セルフポートレート(女優)/リズとしての私・1	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
24		セルフポートレート(女優)/リタ・ヘイワースとしての私・1	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
25		セルフポートレート(女優)/ジョディー・フォスターとしての私・2	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
26		セルフポートレート(女優)/ドヌーブとしての私・1	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
27		セルフポートレート(女優)/ドヌーブとしての私・2	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館
28		セルフポートレート(女優)/ビビアン・リーとしての私・1	1996	イルフォクローム(旧名チバクローム) / アクリル加工	島根県立石見美術館

新聞掲載

毎日新聞 10月22日 展覧会紹介記事

朝日新聞 11月25日 展覧会紹介記事

展示室A 日本画にみる和の装い

会 期：平成21年12月16日(水)～22年2月14日(日)

内 容：所蔵品から和装の女性像を紹介。展示室に「和の装い人気投票」のボードを設置し、来館者に画中の好きなコーディネートにシールを貼ってもらった。投票の結果はホームページ上で発表した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	北野 恒富	むすめ	大正14年(1925)	紙本著色	島根県立石見美術館
2	松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治前期	絹本著色	島根県立石見美術館
3	武藤 嘉門	シヨウウインドウ	昭和12年(1937)	紙本著色	島根県立石見美術館
4	広田 多津	ふたり	昭和13年(1938)	紙本著色	島根県立石見美術館
5	榎本 千花俊	池畔春興	昭和7年(1932)	絹本著色	島根県立石見美術館
6	小早川 清	旗亭涼宵	昭和8年(1933)	絹本著色	島根県立石見美術館
7	小早川 清	宵	昭和11年(1936)	絹本著色	島根県立石見美術館
8	伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和初期	絹本著色	島根県立石見美術館
9	島崎 柳塙	納涼	明治33年(1900)頃	絹本著色	島根県立石見美術館
10	不二木 阿古	爽朝	昭和16年(1941)	絹本著色	島根県立石見美術館
11	柿内 青葉	池	昭和初期	絹本著色	島根県立石見美術館
12	北野 恒富	狂女	大正時代	絹本着色	島根県立石見美術館
13	榎本 千花俊	春雪	昭和初期	絹本著色	島根県立石見美術館
14	鎗木 清方	花見幕	昭和初期	絹本著色	島根県立石見美術館
15	竹久 夢二 表紙	『婦人グラフ』	大正15年(1926)		島根県立石見美術館

展示室A 人物の表現

会 期：平成22年2月17日(水)～4月19日(月)

内 容：所蔵品から人物を描いた日本画、油彩画、版画を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	大正8年(1919)	木版、紙	島根県立石見美術館
2	アニー・シュレーダー	『モード・ウィーン1914 / 15』より	1914～15年	木版、紙	島根県立石見美術館
3	マックス・スニシエク	『モード・ウィーン1914 / 15』より	1914～15年	木版、紙	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～1922年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「チャーリー・チャップリン」	1920年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
7	ソニア・ドロローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』より 「5人の女性」	1924年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
8	アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
9	テオフィル＝アレクサンドル・スタンラン	オートバイ・コムイオ	1899年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
10	ビエール・ボナール	雑誌『ルヴュ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
11	北野 以悦	春	昭和6年(1931)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
12	シャルル・マルタン	『今日の流行とおしゃれ』より 「音楽」	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
13	ジョルジュ・バルピエ	『今日の流行とおしゃれ』より 「突風」	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
14	アンドレ・マルティ	『今日の流行とおしゃれ』より 「映画」	1919年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
15	池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	大正8年(1919)	絹本着色、六曲一雙屏風	島根県立石見美術館
16	岡野 洞山	竹林七賢、商山四皓	嘉永元年(1848)	紙本墨画淡彩、六曲一雙屏風	島根県立石見美術館

関連事業

島根活弁ライブ「名画をいろいろ話芸と音楽」

出演：坂本頼光(活動弁士)、鈴木広志(サクソフォン)、小林武文(パーカッション)、大口俊輔(ピアノ)

日時：平成22年3月21日(日)14:00～15:00

※詳細は「教育普及活動」(25ページ)に記載

展示室B 版画の技法

会 期：平成21年3月25日(水)～4月22日(水)

内 容：コレクションの中から、版画作品をその技法別に紹介した。版画の基本的な4つの技法、凸版(木版画)、凹版(銅版画)、孔版(ステンシル)、平版(リトグラフ)による作品を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ビエール・ボナール	雑誌『ルヴェ・ブランシュ』のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
2	アンリ・ド・トゥールーズ・ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	島根県立石見美術館
5	石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	島根県立石見美術館
6	織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	島根県立石見美術館
7	平塚 運一	松江風景 天神川	1923年	木版、紙	島根県立美術館
8	平塚 運一	松江城天守閣	1931年	木版、紙	島根県立美術館
9	平塚 運一	石州有福温泉	1953年	木版、紙	島根県立美術館
10	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイルモード』5	1922～23年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
11	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイルモード』6	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
12	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイルモード』8	1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
13	永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
14	ジャン＝エミール・ラブレル	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	銅版・エッチング、紙	島根県立石見美術館
15	宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	銅版・エッチング、紙	島根県立石見美術館
16	宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	銅版・エッチング、紙	島根県立石見美術館
17	宮 芳平	もろこしとマト	1935年	銅版・エッチング、紙	島根県立石見美術館
18	宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	銅版・エッチング、紙	島根県立石見美術館
19	宮 芳平	裏山	1935年頃	銅版・エッチング、紙	島根県立石見美術館
20	岩本 拓郎	無題	1975年	銅版・ドライポイント、紙	作家蔵
21	岩本 拓郎	無題	1975年	銅版・ドライポイント、紙	作家蔵

展示室B カワイイ!

会 期：平成21年6月17日(水)～7月27日(月)

内 容：平成18年度開催のコレクション展「ちいさきものはみなうつくし」では、タイトルを清少納言『枕草子』から引用し、千年もの昔から日本人の心にある、「小さいものを可愛いとおもう」きもちを考えた。本展はそこから進み、そもそも可愛いとはどんな感覚であるか、作品通じ再考した。

出品リスト

第1章：どうぶつ

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク	島根県立石見美術館
2	龍水	石見根付 牛		木	島根県立石見美術館
3	富春	根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	島根県立石見美術館
4	エルメス	水着	1940～50年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。	島根県立石見美術館
5	エルザ・スキヤパレリ	イブニング・ドレス	1938年	絹シフォン(シヨッキングピンク地にプリント)のワンピース・ドレス。シヨッキング・ピンクのアンダー・ドレス。	島根県立石見美術館
6	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ベリカン」	1912～13年	綿にプリント	島根県立石見美術館
7	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「海馬・鯨・貝殻」	1924年	サテン・クレープ・織り ボール・ポワレのためのデザイン	島根県立石見美術館

第2章：しょくぶつ

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
8		ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。	島根県立石見美術館
9	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金・銀	島根県立石見美術館
10	ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ	島根県立石見美術館
11	ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙(刻彫)	島根県立石見美術館
12	ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
13	長岡 空味	楽山焼 兜巾茄子写香合		陶土 染付	島根県立美術館
14	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「多色の雪片」		紙にグアッシュ、プリント前の試しの色	島根県立石見美術館
15	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 「マーガレット、赤いバラ、谷の百合」		紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
16	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「黒と白の地にちりばめられたばら」		紙にレリーフ・プリント	島根県立石見美術館
17	クリストバル・パレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス。「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダー・ドレス付。	島根県立石見美術館

第3章：こども

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
18		『ガゼット・デュ・ボン・トン』より よき伯父	1914年	ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
19		『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 夢のような木	1914年	ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
20		『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 131 幼い少女のローブ.	1914年	ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
21	mfn	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 44 黄色と白のチェックで飾ったラチネ織りの白マントー、白と黒のセーラー服.	1913年	ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
22	mfn	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 137 ブルーの花模様のクレープ・デ・シンの少女用ローブ.	1914年	ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
23	mfn	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 176 プリントしたトワルのローブ.	1914年	ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
24	アンドレ・マルティ	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より 朝の公園	1919年	紙	島根県立石見美術館
25	アンドレ・マルティ	『モード・エ・マニエル・ドージュルドウイ』より リズム体操	1919年	紙	島根県立石見美術館
26		『ガゼット・デュ・ボン・トン』より あなたのママは元気?	1914年	ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
27		『ガゼット・デュ・ボン・トン』より それみなさい!	1914年	ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
28	橋本 明治	七五三	1928年	絹本	島根県立美術館
29	ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、ニューヨーク州ヨンカース	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
30	ハインリッヒ・キューン	ロッテの肖像	1910年	ゴム・プリント	島根県立美術館
31	アンリ・カルティエ＝ブレッソン	パリのムフタール街、フランス	1954年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館

新聞掲載

朝日新聞 6月28日 展覧会紹介記事

中国新聞web版 7月9日 ギャラリーレポート 廣田理紗 「カワイイ!」っていったいナニモノ?

中国新聞 7月13日 廣田理紗 展覧会紹介

展示室B 草間彌生

会 期：平成21年9月26日(土)～11月9日(月)

内 容：「ファッション」の領域にも深く関わる仕事を続ける草間彌生の当館所蔵の作品によって、その活動を振り返った。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	草間 彌生	18 J	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
2	草間 彌生	18 D	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
3	草間 彌生	18 Q	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
4	草間 彌生	18 M	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
5	草間 彌生	18 C	1958年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
6	草間 彌生	18 L	1957年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
7	草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	島根県立石見美術館
8	草間 彌生	シルバーシューズ「銀色の希死」より	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	島根県立石見美術館
9	草間 彌生	ドレス(草間自身の店のための)	1968年/1998年再制作	綿、彩色あるいはプリント	島根県立石見美術館
10	草間 彌生	ドレス(草間自身の店のための)	1968年/1999年再制作	綿、彩色あるいはプリント	島根県立石見美術館
11	草間 彌生	ドレス(草間自身の店のための)	1968年/2000年再制作	綿、彩色あるいはプリント	島根県立石見美術館
12	草間 彌生	ドレス(草間自身の店のための)	1968年/2001年再制作	綿、彩色あるいはプリント	島根県立石見美術館
13	草間 彌生	ドレス(草間自身の店のための)	1968年/2002年再制作	綿、彩色あるいはプリント	島根県立石見美術館
14	草間 彌生	ドレス(草間自身の店のための)	1968年/2003年再制作	綿、彩色あるいはプリント	島根県立石見美術館
15	草間 彌生	ジェネシス(創世記)	1993～1994年	詰め物をした縫製布、木、彩色	島根県立石見美術館

展示室B 洋画名品選

会 期：1月13日(水)～4月25日(月)

内 容：当館の洋画コレクションを中心に、洋画で描かれる代表的な主題である、人物、風景、静物にわけて展覧した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	鹿子木 孟郎	加茂の森	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	中川 八郎	初秋の夕	大正8年(1919)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	香月 泰男	ヴァンドーム広場	昭和48年(1973)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	岸田 劉生	静物	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	樺 貞雄	冬瓜南瓜図	昭和22年(1947)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	山本 鼎	筍	昭和13年(1938)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	和田 英作	海神	大正7年(1918)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	安井 曾太郎	水浴図	大正時代(1912～1925頃)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	児島 善三郎	椅子による	大正14～昭和3年頃(1925～1928頃)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	藤田 嗣治	青いドレスの女	昭和14年(1939)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	東郷 青児	婦人像	昭和5～10年頃(1930～1935頃)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	雪の山(前期展示)	明治40～44年頃(1897～1911頃)	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	雪の山(前期展示)	明治40～44年頃(1897～1911頃)	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	山上の眺め(後期展示)	明治41年(1898)	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	初夏(後期展示)	明治40～44年頃(1897～1911頃)	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	小島 烏水 (特別展示)	大下春子宛書簡(2月14日まで)		墨、紙	島根県立石見美術館

展示室C モダン×ファッション

会 期：平成21年4月2日(木)～6月14日(日)

内 容：20世紀の女性のファッションは、装飾性よりも機能性を重んじることで大きく変化した。こうした変化をもたらしたひとつの契機に、スポーツウエアの普及がある。本展では今から約100年前の貴重なスポーツウエアとともに、シャネルなどのモダンなドレスを紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。	島根県立石見美術館
2	作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。	島根県立石見美術館
3	作者不詳	女性用サイクリングウエア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。	島根県立石見美術館
4	作者不詳	水浴着	1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルーマー、スカート。	島根県立石見美術館
5	クリア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのウール・ジャージー	島根県立石見美術館
6	ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。	島根県立石見美術館
7	マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年代	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
8	ジャンヌ・ランヴァン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアププリケワーク。バイアスカット。	島根県立石見美術館
9	クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのシース(鞘型)・ドレス。	島根県立石見美術館
10	クリスチャン・ディオール / イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーヴ。幅広の帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコルセットとガーターが、スカートにはチュール地の3段のペチコートが縫いつけられている。	島根県立石見美術館
11	アンドレ・クレージュ	ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。	島根県立石見美術館

展示室C 森鷗外、黒田清輝と明治・大正の美術

会 期：平成21年6月17日(水)～9月7日(月) *前期：6月17日(水)～8月3日(月)、後期：8月5日(水)～9月7日(月)

内 容：企画展「日本近代洋画の巨匠 黒田清輝展」にあわせ、当館所蔵作品より森鷗外と黒田清輝にゆかりのある画家の作品と、画家たちが装丁した鷗外の著書を展示。あわせて島根県立美術館より黒田清輝「北郎次郎肖像」を借用し、特別に展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	藤島 武二	西洋婦人像	1908～1909年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	黒田 清輝	ポプラの黄葉(グレーの秋)	1891年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	黒田 清輝	北尾次郎肖像	1907年	油彩、カンヴァス	島根県立美術館
7	中村 不折	裸体	1903～1905年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	中村 不折	裸婦	1900～1920年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
11	満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
12	和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
13	和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
14	ガブリエル・フォン・マックス	チロル、カルテルンの故テレーゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	不詳	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
16	原田 直次郎	男児図	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
19	大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
20	大下 藤次郎	シドニー、ニュー・サウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
21	藤田 嗣治	青いドレスの女	1939年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
22	宮 芳平	風景	1912～1925年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
23	宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
24	木下 奎太郎	助六	不詳	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
25	和田 英作：挿画、 木下 奎太郎：装丁	森鷗外訳、ゲーテ作『ギョッツ』	1916年	冊子	島根県立石見美術館
26	長原孝太郎装丁	森鷗外訳、ホフマンスタール作『謎』	1914年	冊子	島根県立石見美術館
27	藤島 武二：装丁	森鷗外訳、ハウプトマン作『寂しき人々』	1911年	冊子	島根県立石見美術館
28	藤島 武二：装丁	森鷗外訳、翻訳小説集『蛙』	1919年	冊子	島根県立石見美術館
29	原田 直次郎：挿画 (森鷗外「文づかひ」掲載)	『新著百種』第12号	1891年	冊子	島根県立石見美術館
30	中村 不折：装丁	森鷗外訳、翻訳戯曲集「人の一生 飛行機」	1911年	冊子	島根県立石見美術館

展示室C ファッションを描く、ファッションを写す

会 期：平成21年9月9日(水)～10月26日(月)

内 容：ファッション雑誌に挟み込まれていた版画「ファッション・プレート」と、ファッション写真を展示した。本展で20世紀のファッションがどのようにイメージされてきたか当館所蔵作品により振り返った。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジョルジュ・バルビエ	水着『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 101	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
2	V.リュエ	刺繍をしたチュールのダブル・チュニック付き寒冷紗のローブ、サテンの折り返しのあるプティ・カサック『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 102	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
3	U.ブルネレスキ	午後の装い『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 103	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
4	ジョルジュ・バルビエ	プリントしたローンのドレス『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 104	1913年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
5	B.B.ドウ・モンヴェル	アंकロワイヤールとカーティニエール『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 144	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
6	A.ヴァレ	午後の装い『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 143	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
7	ジョルジュ・バルビエ	プリントしたタフタの装い、麦藁帽子『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 179	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
8	mfn	黄色いモスリンのナイト・ウエアとキャップ『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 180	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
9	ジョルジュ・バルビエ	赤い弓『今日の流行とおしゃれ』より	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
10	アンドレ・マルティ	レース『今日の流行とおしゃれ』より	1919年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
11	アンドレ・マルティ	風の中の翼『今日の流行とおしゃれ』より	1914年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
12	ジョルジュ・ルバープ	11時『今日の流行とおしゃれ』より	1918年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
13		訪問『ガゼット・デュ・ボン・トン』より no.2 pl.11	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
14		ダンス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より no.2 pl.1 2	1920年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
15	エルネスト・タヤート	マドレーヌ・ヴィオネのドレス『ガゼット・デュ・ボン・トン』より pl.62	1922年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
16		悲嘆に暮れる女性『ガゼット・デュ・ボン・トン』より pl.59	1922年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
17		衝立の美しい女性たち『ガゼット・デュ・ボン・トン』より pl.1 2	1924~25年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
18		芝生の上で『ガゼット・デュ・ボン・トン』より pl.59	1924~25年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
19		パリの審判『ガゼット・デュ・ボン・トン』より pl.60	1924~25年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
20	ダゴベルト・ベツヒエ (ウィーン工房)	『モード・ウィーン 1914/15』より IV	1914~15年	木版、一部水彩加筆、紙	島根県立石見美術館
21	ロッテ・カルム (ウィーン工房)	『モード・ウィーン 1914/15』より VI	1914~15年	木版、一部水彩加筆、紙	島根県立石見美術館
22	ヒルダ・イエッサー (ウィーン工房)	『モード・ウィーン 1914/15』より XI	1914~15年	木版、一部水彩加筆、紙	島根県立石見美術館
23	ウィーン工房	『婦人の生活』より V	1916年	ポートフォリオ、手彩色木版	島根県立石見美術館
24	ウィーン工房	『婦人の生活』より XIX	1916年	ポートフォリオ、手彩色木版	島根県立石見美術館
25	エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	1923年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
26	ジョージ・ホイニンゲン =ヒューネ	ロレッタ・ヤング		ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
27	セシル・ビートン	題不詳	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
28	リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
29	ウィリアム・クライン	煙+ベール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
30	サラ・ムーン	フランス版『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
31	アーヴィン・プリュー メンフェルド	エイジ・オブ・エレガンス	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
32	アーヴィン・プリュー メンフェルド	エイジ・オブ・エレガンス	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
33	アーヴィン・プリュー メンフェルド	エイジ・オブ・エレガンス	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
34	アーヴィン・プリュー メンフェルド	エイジ・オブ・エレガンス	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
35	アーヴィン・プリュー メンフェルド	エイジ・オブ・エレガンス	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
36	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス版『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
37	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス版『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
38	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて フランス版『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館

展示室C 雲谷等顔とその流派

会 期：平成21年10月28日(水)～11月30日(月)

内 容：戦国時代末期から江戸時代初期にかけて活動し、毛利氏の御用画師として活躍した雲谷等顔と、その流派「雲谷派」を紹介。一部の屏風をガラスケースに入れずに展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
2	雲谷 等顔	押絵貼屏風	桃山時代～江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
3	雲谷 等益	山水図屏風	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
4	雲谷 等益	四季山水図屏風	江戸時代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
5	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代	絹本墨画淡彩	島根県立石見美術館
6	雲谷 等的	山水図	江戸時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
7	斎藤 等室	山水図	江戸時代	紙本墨画	島根県立石見美術館

展示室C 1960年代の美術とデザイン

会 期：平成21年12月1日(水)～平成22年2月13日(土)

内 容：1960年代の国産車をテーマとした企画展「疾走する日本車(アート)」展にあわせて、当時の写真、衣装等を展示した。6人の作家の作品によって当時の時代性を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	植田 正治	〈童暦〉より	1955～70年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
2	植田 正治	〈童暦〉より	1955～70年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
3	植田 正治	〈童暦〉より	1955～70年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
4	植田 正治	雪の中の子供 〈童暦〉より	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
5	植田 正治	雪の日 〈童暦〉より	1960年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
6	東松 照明	爆心地から約0.7kmの地点から掘り出された腕時計 〈「11時02分」NAGASAKI〉より	1961～62年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
7	東松 照明	0.6km地点 爆風により崩壊した浦上天主堂の天使像 〈「11時02分」NAGASAKI〉より	1961～62年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
8	東松 照明	片岡津代さん (1.4km地点で被爆 肉親13人が死亡) 〈「11時02分」NAGASAKI〉より	1961～62年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
9	東松 照明	浦川清美さんと娘たち (1.6km地点で被爆 父母兄弟6人死亡) 〈「11時02分」NAGASAKI〉より	1961～62年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
10	東松 照明	末次助作さんの家(1969年死去) 〈「11時02分」NAGASAKI〉より	1961～62年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
11	桑原 史成	孫は胎児性の水俣病で出生した。食事を与える祖父 〈水俣〉より	1960～77年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
12	桑原 史成	胎児性の患者 〈水俣〉より	1960～77年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
13	桑原 史成	チッソ(当時 新日本窒素)水俣工場では争議が起きた 〈水俣〉より	1960～77年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
14	桑原 史成	水俣湾での零細な操業 〈水俣〉より	1960～77年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
15	桑原 史成	手。発病から10年、元網元の漁師の手 〈水俣〉より	1960～77年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
16	桑原 史成	「成人の日」の夜、盛大な宴がもたれた 〈水俣〉より	1960～77年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
17	森山 大道	〈アクシデント〉より		ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
18	森山 大道	事故 〈アクシデント・6〉より	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
19	森山 大道	スタア 〈アクシデント・8〉より	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
20	森山 大道	黒い日曜日 〈アクシデント・10〉より	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
21	森山 大道	〈アクシデント〉より		ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
22	森 英恵	右:ショート・ドレス 左:イブニングコート *コートとドレスを別々のマネキンに着せ、分けて展示	1964年	純金帯地(西陣織)のイブニングコート、ショート・ドレスのスカート。ショート・ドレスのトップスは絹サテンと帯地。アンダーウェア付。コートとドレスの組み合わせ。	島根県立石見美術館
23	森 英恵	右:イブニングコート 左:ドレス *コートとドレスを別々のマネキンに着せ、分けて展示	1968年	綿帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート。赤と白の絹サテンのロング・ドレス。赤い絹サテンのベルト付。コートとドレスの組み合わせ。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
24	草間 彌生	ドレス(草間自身の店のための)/1998年再制作	1968年/ 1998年再制作	綿、彩色あるいはプリント	島根県立石見美術館
25	参考資料	草間彌生ハプニング記録写真			島根県立石見美術館

展示室C ダイアン・アーバスとファッション

会 期：平成22年2月17日(水)～4月19日(月)

内 容：本展は、ファッション写真で成功していたダイアン・アーバスが、30代半ば過ぎ以降その流れから逸脱し、「よそおい」の下にある人間の本性を暴露するような写真を残すようになっていった点に注目。彼女の写真を紹介しながら、からだごと心に密接な関係をもつ「よそおうこと」を考えた試み。

出品リスト

第1章：1960年代のファッション

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
2	ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
3	メルヴィン・ソコルスキー	デルボーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
4	メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
5	パコ・ラバンヌ	イヴニングドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。	島根県立石見美術館
6	ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。	島根県立石見美術館
7	アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965～67年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。	島根県立石見美術館

第2章：らしさ と よそおい

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
8	ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
9	ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、ニューヨーク州ヨンカース	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
10	ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
11	ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
12	ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
13	ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
14	ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館

第3章：仮面のしたのほんとうのすがた

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
15		ファッション雑誌『visionaire26 Fantasy』付録 エルメス製のリボンのついた仮面	1998年	紙、布	島根県立石見美術館
16	ジョルジュ・バルビエ	『今日の流行とおしゃれ』1914年号 本紙表紙見返し	1914年	紙	島根県立石見美術館
17		ファッション雑誌『Femmina (フェミナ)』1923年12月号	1923年	紙	島根県立石見美術館
18	R.ダミー	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 142 マノン。	1914年	ポシヨワール版画、紙	島根県立石見美術館
19	ファビウス	『ジュルナル・デ・ダム・エ・デ・モード』より 152 アルルカンの仮装をした女性。	1914年	ポシヨワール版画、紙	島根県立石見美術館
20	ジョルジュ・ルバープ	『今日の流行とおしゃれ』より 仮装	1912年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
21	ジョルジュ・ルバープ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 女性と彼女に操られる者たち 操り人形	1913年	ポシヨワール版画、紙	島根県立石見美術館
22		『ガゼット・デュ・ボン・トン』より 鳥かごの中のオオカミ ウォルトによる”マヤ”のための衣装	1913年	ポシヨワール版画、紙	島根県立石見美術館
23	ジョルジュ・バルビエ	『今日の流行とおしゃれ』より アルルカン(道化役)	1914年	紙	島根県立石見美術館

(財)独立書人団島根県支部 第31回 益田ブロック書展

会 期：平成21年6月25日(木)～6月29日(月)
会 場：展示室D

2009文化を育むinますだ 第28回益田市美術展

会 期：平成21年11月26日(木)～11月29日(日)
会 場：展示室D

第41回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：平成21年12月3日(木)～12月6日(日)
会 場：展示室D

全島根図画作品展

益田・鹿足展

会 期：平成22年2月26日(金)～3月1日(月)
会 場：展示室D

教育普及活動



かえっこバザール

【かえっこバザール】

福岡県在住の美術家、藤浩志氏が提案する子ども達のためのユニークな空間「かえっこバザール」（使わなくなったおもちゃを子供たちが交換するイベント）を平成19年度から継続して開催している。

日 時：平成21年7月4日 14:00～16:00

会 場：多目的ギャラリー

子どもスタッフ：7名

【クリスマスワークショップ】

「よそゆきのふかふかバッグをつくろう」

講 師：濱野 由美（山口在住のフェルト作家）

日 時：平成21年12月5日 クリスマスワークショップ

会 場：多目的ギャラリー

参 加 者：33名



クリスマスワークショップ

【島根活弁ライブ】

「名画をいろどる話芸と音楽」

活動弁士と生演奏によるスペシャルギャラリートーク。コレクション展「人物の表現」出品作品から5作品を選んで音楽家が作曲をし、活動弁士が台本を書きおろした。ライブ当日は展示室内で作品を前に演奏と作品の説明を行った。

日 時：平成22年3月31日(日)14:00～

活動弁士：坂本頼光

音 楽 家：鈴木広志(サクソフォン)、小林武文(パーカッション)、大口俊輔(ピアノ、アコーディオン)

参 加 者：84名

会 場：展示室A

島根活弁ライブ
「名画を彩る話芸と音楽」

【子ども記者受け入れ】

月に一度、学芸員が益田市内の小学生による「子ども記者」の取材を受け、質問に答えながら一緒に展覧会を見る企画。益田市の広報誌『広報ますだ』（月二回発行）において連載した。

平成21年 8月15日号 企画展「黒田清輝展」 子ども記者：益田小学校

9月15日号 特別展「出雲藍板締め」 子ども記者：吉田南小学校

10月15日号 企画展「千年の祈り 石見の仏像」 子ども記者：美濃小学校

11月15日号 コレクション展「森村泰昌」 子ども記者：二川小学校

12月15日号 特別展「版画の年賀状」 子ども記者：戸田小学校

平成22年 2月15日号 コレクション展「洋画名品選」 子ども記者：西益田小学校

3月15日号 コレクション展「人物の表現」 子ども記者：都茂小学校

【博物館実習】

日 時：平成20年8月17日(月)～8月22日(土)

参 加 者：鳥取大学(1名)

【教員研修「水墨画教室」】

日 時：平成21年7月30日(木)

講 師：真住貴子

参 加 者：津和野町立小川公民館 成人学級

会 場：島根県芸術文化センター 講義室

【教員研修「水墨画教室」】

日 時：平成21年10月29日(木)

講 師：真住 貴子

参 加 者：鹿足郡教育研究会所属の教員

会 場：島根県芸術文化センター 講義室

【出前講座】

学芸員による「出前講座」を、美術館開館前の平成15年度より実施している。今年度は3回実施した。

「水墨画鑑賞講座」

日 時：平成21年8月20日(木)
講 師：真住 貴子
参 加 者：小川公民館 成人学級
会 場：小川公民館

「水墨画教室」

日 時：平成21年10月25日(日)
講 師：真住 貴子
参 加 者：益田市立安田小学校6年生(48名)
会 場：益田市立安田小学校

「対話型鑑賞とアートカードを使ったゲーム」

日 時：平成22年3月3日(水)
講 師：真住 貴子
参 加 者：益田市立西益田小学校4年生(29名)
会 場：益田市立西益田小学校

【館外での講座・講演など】

「仏像の見方②」

日 時：平成21年6月19日(金) 13:00～15:00
講 師：椋木 賢治
参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(25名)
会 場：いわみ〜る

「仏像の見方③」

日 時：平成21年7月3日(金) 13:00～15:00
講 師：椋木 賢治
参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(25名)
会 場：いわみ〜る

「中尾 彰 ― 津和野・東京・蓼科 ― 展」におけるトーク
美術を語る「中尾 彰」

日 時：平成21年7月25日(土) 14:00～
講 師：真住貴子(他2名)
会 場：茅野市民アトリエ
主 催：茅野市美術館

「お話を絵にしよう」

日 時：平成21年8月20日(木)
講 師：河野 克彦
参 加 者：鳥根県高文連文学専門部夏季学習会参加の高校生(44名)
会 場：鳥根県立江津少年自然の家

「仏像の見方①」

日 時：平成21年8月25日(火) 10:00～12:00
講 師：椋木 賢治
参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校1年生(15名)
会 場：いわみ〜る

「水彩画のパイオニア 大下藤次郎の世界展 ～鳥根県立石見美術館
コレクションより～」におけるギャラリートーク

日 時：平成21年9月12日(土) 14:00～
講 師：川西 由里
会 場：郡山市立美術館企画展示室

第56回 中国地区小学校校長 教育研究大会での講演

日 時：平成21年11月20日(火)
講 師：澄川 喜一(当館館長)
参 加 者：中国地区の小学校校長会会員(約70名)
会 場：出雲市民会館

江津市文化協会創立5周年記念講演会

日 時：平成21年12月5日(土)
講 師：澄川 喜一(当館館長)
参 加 者：江津市文化協会会員(約50名)
会 場：江津市総合市民センター

「森鷗外ゆかりの美術家たち」

日 時：平成22年2月12日(金) 13:00～15:00
講 師：川西 由里
参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(25名)
会 場：いわみ〜る

**「みづゑのきらめき 中川八郎、大下藤次郎と近代日本の水彩画」展
記念講演会「明治のマルチタレント 大下藤次郎」**

日 時：平成22年3月7日(日) 14:00～15:30
講 師：川西 由里
会 場：愛媛県美術館研修室

ボランティア

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、劇場、イベント企画、美術館、発送、クリーンアップ、生け花、情報の7つの部門からなっている。そのうちの美術館ボランティアには、「ギャラリートークグループ」と「ワークショップグループ」のふたつがあり、それぞれ10数名のボランティアが活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展について、会期中の土日、午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)の交代制で実施。各展覧会のトーク開始前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を受講している。

活動記録

6月17日～9月7日	コレクション展「森鷗外、黒田清輝と明治・大正の美術」
10月28日～11月30日	コレクション展「雲谷等顔とその流派」
12月16日～22年2月14日	コレクション展「日本画に見る和の装い」
1月13日～4月25日	コレクション展「洋画名品展」
2月17日～4月19日	コレクション展「人物の表現」

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして事業に関わっている。

活動記録

7月4日	かえっこバザール
8月8日	夏休みお絵かき塾「《湖畔》に挑戦!」
12月5日	クリスマスワークショップ「よそゆきのふかふかバッグをつくろう」
1月9日、2月6日	工作教室「木のクルマを作ろう」

1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界子ども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館（以上7館）

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品（7館グッズ詰め合わせ）贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、萩博物館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館（以上6館）

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設（4施設）

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館（コレクション展・企画展）、浜田市立石正美術館、浜田市世界子ども美術館（館主催の展示のみ）

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,300円

○加入施設（5施設）

島根県立石見美術館（コレクション展のみ）、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売（使用開始）の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効。

4. 割引制度

下記に掲げる乗車券、観覧券等を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以東島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券（半券）

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券（半券）

⑧ 島根県立いわみ芸術劇場で開催される催し物（当日のみ有効）の有料入場券（半券）

⑨ 提携館が発行する年間パスポート（期限内）

・足立美術館・医光寺・今井美術館・大原美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界子ども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑩ 提携カード

・しまねカード（島根県広島事務所）・しまね子育て応援パスポート（島根県少子化対策推進室）・ちゅーピーくらぶ（株式会社中国新聞社）・ドゥブレ（財団法人広島勤労者職業福祉センター）・とっとり子育て応援パスポート（鳥取県子育て支援総室）・やわらぎカード（株式会社オーエムシーカード）・ゆめカード（株式会社ゆめカード）・JAカード（三菱UFJニコス株式会社）・JAF（社団法人日本自動車連盟）・SDカード（自動車安全運転センター）

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	1615～1624年	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	1630年代	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	1600～1618年頃	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷 派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鏑木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一雙	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿像	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ・角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ・角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポブラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
ウイーン工房(フレール、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャンーエミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャンーエミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパーブ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ダゴベルト・ベッヒェ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ポール・イリーブ	『ポール・ポフレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩獵	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッセ・カルム	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴバルト・ベッヒェ	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912～25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドール・ジュールドワイ』	1912～22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・ダム・エ・デ・モード』	1912～14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893～1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	ホピー	1903～1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903～1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903～1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903～1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903～1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903～1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903～1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903～1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903～1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903～1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903～1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の□居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	鎌倉	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	二日市	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892~1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	120.0×95.0
アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年	ダイ・トランスファープリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イヴニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨソカーズ	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシ ティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
パロン・ド・メイヤー	ミスターゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	デイトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーパース・バ ザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・ブロコウ 『ハーパース・バザー』 1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーパース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
宍戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暲	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベッ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙刻	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙(刻彫)	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920~21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫 刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993~94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F. R. P(強化プラスチック)、 塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木彫	高34.0

服 飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	カフタン、ドレス	1960年代後半~ 1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1960年代後半~ 1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イヴニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イヴニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイヴニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	イヴニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
森 英恵	ディ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
アリックス・グレ	イヴニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたまたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イヴニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965~1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半~ 1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボディ中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967~1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「Musique de Nuit」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーヴ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘア・バンド。
イヴ・サンローラン	イヴニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイヴニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イヴニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イヴニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカートは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラットフォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リパティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。

作家名	作品名	制作年	材質
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のホルセット、パッドのはいたバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのブラット・フォーム・シューズ。
エルザ・スカパレリ	イヴニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スカパレリ	イヴニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス。襟元にポー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのホルセット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグラン・スリーブ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスプリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール / イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーブ。幅広の帯風のベルト。ボディスの内側にはチュール地のボーン入りホルセットとガーター。スカートにはチュール地の3段のベチコート。
クリスチャン・ディオール / マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリスタル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリスタル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラベーズラインのドレス。
クリスタル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパンコール、人造宝石の刺繍。
クリスタル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリスタル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリスタル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイ・レースの「ベビー・ドールドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリスタル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムのパンツ。
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディスとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イヴニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボディスとスカート上部に金銀のスパンコールなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク。バイアスカット。
ジルベルト・エイドリアン	ディ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イヴニング・コート	1925年頃	黒い絹の菌型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にばかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアップリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イヴニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。

作家名	作品名	制作年	材質
バーバラ・フラニッキー ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップ・ボーンフレアーパンツ。
バーバラ・フラニッキー ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニット。
パコ・ラバヌ	イヴニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ピエール・バルマン	イヴニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアーを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き。
ビバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップ・ボーンフレアー・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ポワレ	イヴニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン・シフォン地。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。裏地はライム・グリーン・絹シフォン。
ポール・ポワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ポワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディとスカート裾に花卉の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ポワレ	ディ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ポワレ	ディ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ポワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッスル飾り付き。
マックス・スニシュク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシュク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシュク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モナチ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンバーシェ	イヴニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグラン・スリーブ。
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーン・ウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。

作家名	作品名	制作年	材質
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーン系のウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズのパンツ。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルーマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルーマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。
作者不詳	イヴニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいブロケード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーン系のゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ポータ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

寄 贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	油彩画	堂本 尚郎	宇宙I	昭和53年(1978)	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0

所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
美術館連絡協議会25周年記念「日本の美術館名品展」 東京都美術館 平成21年4月25日～7月5日	黒田清輝《ポプラの紅葉》 藤田嗣治《アントワープ港の眺め》
「レオナルド・フジタ展 よみがえる幻の壁画たち」 松坂屋美術館 平成21年8月1日～9月13日	藤田嗣治《アントワープ港の眺め》
「画家の眼差し、レンズの眼—近代日本の写真と絵画展」 神奈川県立鎌倉近代美術館 葉山 平成21年6月15日～9月7日	大下藤次郎《林間》 大下藤次郎《湖水を望む》 大下藤次郎《浪》 大下藤次郎《淵先の製塩所》 大下藤次郎《河原》 大下藤次郎《夏》 大下藤次郎《山上の眺め》 大下藤次郎《初夏》 大下藤次郎《山の風景》 大下藤次郎《雪の山》 大下藤次郎《雪の山》 大下藤次郎《木立》 大下藤次郎《浜辺の松》 岸田劉生《静物》
「和装美人から洋装美人へ —大正・昭和の女性像—」 京都府立堂本印象美術館 平成21年10月2日～平成21年11月29日	山田喜作《真夏の港》 榎本千花俊《揚々戯》 菊池隆志《室内》 橋本明治《荘園》 榎本千花俊《唇を描く》
「ロシアの夢 1917～1937 革命から生活へ —ロシア・アヴァンギャルドのデザイン」展 埼玉県立近代美術館 平成21年10月10日～12月6日 岡崎市美術博物館 平成22年1月30日～3月28日 山形美術館 平成22年4月3日～5月9日	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイルデザイン画23点 ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル9点
「水彩画のバイオニア 大下藤次郎の世界展 ～島根県立石見美術館コレクションより～」 郡山市立美術館 平成21年9月12日～平成21年10月18日	大下藤次郎作品110点 大下藤次郎関係資料40点
島根県立美術館10周年記念 コレクション展 「浮世絵遊覧」 島根県立美術館 平成22年1月2日～2月15日	絵師不詳《舞踊図屏風》 岩佐派《遊楽美人図》
「みづゑのきらめき 中川八郎、大下藤次郎と近代日本の水彩画」 愛媛県美術館 平成22年2月20日～3月22日	大下藤次郎作品77点 大下藤次郎関係資料7点

入館者数一覧／パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	21,438	998	1,239	351	2,588	3,092	2,566	2,537	8,195
5月	32,383	2,552	2,461	156	5,169	6,578	3,561	8,944	19,083
6月	21,855	1,274	1,746	634	3,654	3,329	4,037	2,232	9,598
7月	23,222	3,701	4,004	54	7,759	3,698	3,421	1,711	8,830
8月	39,645	11,479	9,702	0	21,181	8,973	1,741	2,403	13,117
9月	25,257	3,432	3,552	108	7,092	3,507	2,544	5,444	11,495
10月	28,314	6,897	5,844	241	12,982	2,568	3,437	7,548	13,553
11月	32,021	4,106	3,944	697	8,747	8,440	3,241	5,096	16,777
12月	19,291	681	1,246	771	2,698	4,749	1,993	1,557	8,299
1月	31,882	12,154	7,680	30	19,864	3,066	3,642	2,919	9,627
2月	29,075	6,653	5,649	30	12,332	4,357	2,772	2,400	9,529
3月	14,938	0	804	0	804	3,354	2,545	1,644	7,543
合計	319,321	53,927	47,871	3,072	104,870	55,711	35,500	44,435	135,646

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	30	182	9	34	96	469	178	998
5月	57	492	38	168	258	996	543	2,552
6月	91	137	25	85	326	317	293	1,274
7月	289	825	132	287	555	1,092	521	3,701
8月	1,010	3,722	391	1,418	764	2,293	1,881	11,479
9月	129	801	82	153	916	883	468	3,432
10月	296	1,346	148	382	469	1,408	2,848	6,897
11月	299	1,031	105	498	690	903	580	4,106
12月	48	202	21	10	55	230	115	681
1月	1,137	5,463	566	844	1,307	1,913	924	12,154
2月	684	2,987	381	448	691	813	649	6,653
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,070	17,188	1,898	4,327	6,127	11,317	9,000	53,927

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	30	0	249	39	124	616	181	1,239
5月	57	0	444	163	258	996	543	2,461
6月	91	55	296	106	350	512	336	1,746
7月	289	16	741	399	690	1,315	554	4,004
8月	1,010	0	2,548	1,293	764	2,293	1,794	9,702
9月	129	2	664	209	979	1,089	480	3,552
10月	296	2	570	251	469	1,408	2,848	5,844
11月	299	68	582	486	726	1,167	616	3,944
12月	48	3	179	31	150	656	179	1,246
1月	1,137	0	1,717	682	1,307	1,913	924	7,680
2月	684	36	1,761	677	726	1,064	701	5,649
3月	0	0	291	87	177	442	50	1,047
合計	4,070	182	10,042	4,423	6,720	13,471	9,206	48,114

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
中尾彰 展	平成21年4月17日～6月15日	50	4,824
黒田清輝 展	平成21年7月18日～8月31日	40	15,180
石見の仏像 展	平成21年9月18日～11月16日	52	14,435
疾走する日本車 展	平成21年12月23日～平成22年2月14日	41	19,488
合計			53,927

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2,165	2,190	2,164	2,239	2,335	2,400	2,427	2,441	2,436	2,427	2,266	2,223

収支概要

■収支概要

(1) 支出予算

単位：千円

センター運営費	25,194
指定管理委託費	339,457
展覧会事業費	51,772
企画展示費	46,952
常設展示費	1,951
特別コレクション展示費	2,869
教育普及費	4,235
教育普及(誘客促進)費	2,503
調査研究費	1,925
情報提供事業費	1,149
美術品保存修復事業費	1,907
地域連携による石見神楽開催事業費	3,454
センター利用促進事業費	1,660
センター維持管理事業費	3,213
合 計	436,469

※2月補正額

(2) 収入実績

単位：千円

企画展	24,613
常設展	2,814
パスポート	5,685
目的外使用料	3,298
合 計	36,410

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例

平成16年10月12日
島根県条例第51号

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。
島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等は、その指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。

3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じても、知事等はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

（平17条例39・一部改正）

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するとき、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前で指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に應ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。
- 3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1（第3条関係）

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 30,640	円 40,860	円 51,070	円 61,290	円 81,720	円 102,150
		土、日曜日 及び休日	36,760	49,030	61,280	73,540	98,060	122,580
	1階席	平日	20,430	27,240	34,050	40,860	54,480	68,100
		土、日曜日 及び休日	24,510	32,680	40,860	49,030	65,370	81,720
小ホール	平日	8,170	10,890	13,620	16,340	21,790	27,240	
	土、日曜日 及び休日	9,800	13,060	16,340	19,600	26,140	32,680	
スタジオ1			4,620	6,160	7,700	9,240	12,320	15,410
スタジオ2			950	1,270	1,590	1,900	2,540	3,180
大ホール大楽屋1			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール大楽屋2			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール中楽屋1			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋2			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋3			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋4			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
大ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール中楽屋1			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール中楽屋2			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
多目的ギャラリー			3,830	5,110	6,390	7,670	10,220	12,780

備考

- 1 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額）
イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。

- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（(2)の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。

島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

所在地

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名

申請者

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計			円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号

[設計期間] 2001年4月～2002年7月

[工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所

[構造設計] 空間工学研究所

[設備設計] 明野設備研究所

[コンサルタント]

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡

[建築面積] 14,068.15㎡

[延床面積] 19,252.45㎡

1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡

地下1階：3,045.66㎡

[建蔽率] 38.4%（許容：60%）

[容積率] 52.6%（許容：200%）

[用途] 美術館・劇場

[規模] 地上2階 地下1階

[最高高さ] 32.24m

[構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

●空調設備、空調方式

ホール・美術館：単一ダクト方式

事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式

レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

●熱源

冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、

空冷ヒートポンプチラー方式

氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）

温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、

ボイラー方式

●衛生設備

給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式

給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、

その他：局所式（電気温水器）

排水：建物内＝汚・雑排水合流方式

建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

●電気設備

受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線

設備容量：6250kVA

契約電力：1500kVA

予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

●防災設備

消火設備：全館スプリンクラー設備

（ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）

美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備

（ハロンバンク登録）

補助散水栓

排煙：自然排煙、機械式排煙

その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、

非常用照明

昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター

特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・

砂濾過方式

[施工]

- 建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体
- 衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体
- 強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体
- 弱電：栗原工業
- 舞台機構：森平舞台機構
- 舞台照明：丸茂電機
- 舞台音響：ヤマハサウンドテック
- 非常用発電：東芝
- エレベーター：東芝エレベーター
- 浄化槽：アルファプランニングワーク
- 外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 植栽：田部、大畑建設
- アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体
- 屋根・外壁石州瓦：
 - 施工＝益田窯業
 - 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ
 - 瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）＝シマムラ
- 外壁タイル：
 - 施工＝協和タイル
 - 製造＝株式会社 スカラ
- 特殊照明：ヤマギワ

〔諸室面積一覧〕

石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

共用・管理部門

●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡

●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡

●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

いわみ芸術劇場

大ホール

●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡

●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡

小ホール

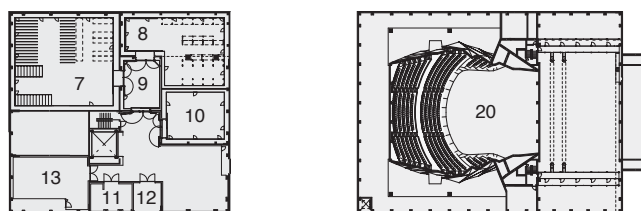
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡

●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡

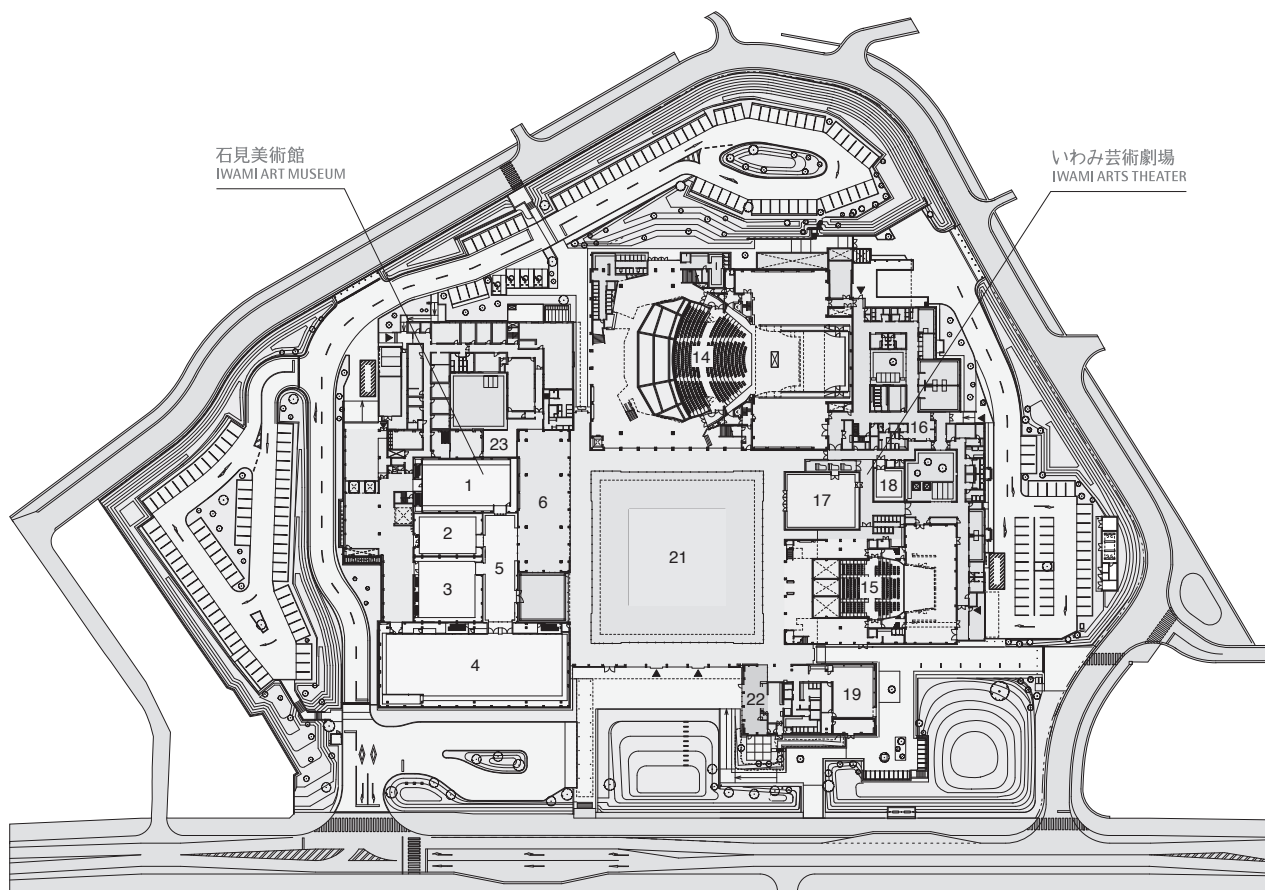
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡

●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室 1/2	14.1㎡

2F



1F



石見美術館

- | | |
|----------|----------|
| 1:展示室 A | 8:収蔵庫 2 |
| 2:展示室 B | 9:収蔵庫前室 |
| 3:展示室 C | 10:一時保管庫 |
| 4:展示室 D | 11:修復室 |
| 5:展示前室 | 12:隔離室 |
| 6:美術館ロビー | 13:写真室 |
| 7:収蔵庫 1 | |

いわみ芸術劇場

- | | |
|----------------|---------------|
| 14:大ホール | 21:中庭広場 |
| 15:小ホール | 22:レストラン |
| 16:楽屋 | 23:ミュージアムショップ |
| 17:スタジオ 1 | |
| 18:スタジオ 2 | |
| 19:多目的ギャラリー | |
| 20:大ホール 2 F 客席 | |

運営組織体制

施設名称

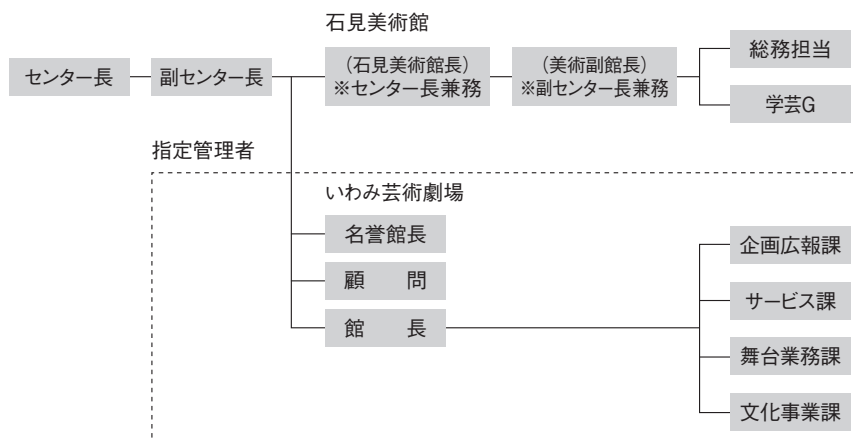
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

- 顧問 高階秀爾(大原美術館館長、元国立西洋美術館館長)
 遠山敦子(新国立劇場理事長、元文部科学大臣)
 畠山博治(NHK理事)
 福原義春(資生堂名誉会長、東京都写真美術館館長)
 森 英恵(ファッションデザイナー)

島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホールの文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜徳郎



平成23年3月31日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

<http://www.grandtoit.jp> E-mail : zaidan@grandtoit.jp



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM